

平成 2 9 年度

事業報告書



「マナビイ」
生涯学習マスコットマーク

学び 出合い よろこび

石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は　　じ　　め　　に

ことのほか厳しかった冬のあと一気に爛漫となった春も足早に去り、新緑が目にもぶしい季節になりました。毎年のことながら鮮やかな季節の移ろいに瞠目させられる思いがしますが、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年発表された統計によりますと、県内には90歳を超える方々が2万1千名あまりいらっしゃいます。いまや80歳代は当たり前、100歳を超えていても珍しい存在ではなくなりました。ご同慶のいたりですが、一線を退いて健康を保ちながらなお充実した時をいかに過ごすかは高齢社会の大きな課題であることは改めて申し上げるまでもありません。

当センターの主要事業である石川県民大学校には、2年続けて1万人を超える方々が入校されました。生涯にわたって学び続けようという受講者の熱い思いが感じられます。今後も新しいテーマを設定したり、ワークショップのような参加型講座を取り入れるなど内容の充実を図ってまいりたいと思っております。

他の事業では、学んだ成果をもとに講座の講師となる場を提供する「あすなろ悠々塾」、地域活性化のための人材育成をめざす「ファシリテーター養成講座」、10～40歳代の層を主な対象とする「ファミリー・カレッジ in 本多の森」などは受講者の満足度の高い講座となっています。

さらに「ふるさとモット学び塾」はふるさと石川への愛着と誇りを持つために文化や歴史、自然、産業等について学習することを目的にしておりますが、その柱の一つである「ふるさとふれあい現地講座」は、定員の関係もあり毎回抽選をしなければならないほどの人気ぶりです。一方能登校で恒例となっております「能登文化教室」にも毎年多数の方々にお運びいただいております。

また「まなびすとルーム」では、マナビィコーナーにおける県民の皆様の作品展示など生涯学習の成果発表、DVD・16ミリフィルム等の貸し出し、さらに生涯学習に関するご相談や情報提供を行い県民の生きがいくりの応援ができるような行政サービスを進めているところです。

この報告書は、平成29年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。ご高覧のうえ、ご助言ご提言いただければ幸いです。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年5月

石川県立生涯学習センター
館長　平　聖一郎

目 次

I 生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみと流れ	3
(2) 石川県民大学校の入学状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさとふれあい現地講座	12
(3) ふるさと発見出前講座	13
(4) あすなろ悠々塾	15
(5) あすなろ悠々塾講師養成研修	17
(6) 人権講演会	18
(7) 世界理解講座	19
(8) ファミリー・カレッジin本多の森	20
(9) 兼六ビデオ講座	21
(10) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～	23
(11) 本多の森映画会	24
(12) 夏休み子ども映画会	25
(13) 本多の森キッズシアター	26
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	27
(2) まなびすとルーム	28
(3) 視聴覚ライブラリー	28
(4) 生涯学習センターだより(館報)	29
(5) 県民企画展示マナビィコーナー	30
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	31
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	32
(3) ファシリテーター養成講座	33
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	34
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	35
5 マナビィフェアin本多の森	36
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	37
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	38
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	39
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	40
(5) 視聴覚セミナー	41
(6) 県民映像カレッジ	41
(7) ICT活用講座	42
(8) いしかわビデオ作品コンクール	43
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	44
(10) 自主サークル	44
II 生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) ふるさとふれあい能登校講座	45
(2) 能登文化講座	45
(3) 能登の歴史探訪講座	46
(4) 古文書解説講座	46
(5) 能登陶芸教室	47
(6) あすなろ悠々塾in能登	47
(7) 能登特別映画会	48
(8) ふるさと文化探究講座	48
(9) 輪島塗沈金教室	49
(10) 夏休み子ども科学教室	49
(11) 夏休み子ども特別映画会	50
(12) 夏休み子ども陶芸教室	50
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) フランス料理教室	51
(2) 大人の料理教室	51
(3) サンドブラスト体験教室	52
3 能登分室利用状況	53
III 調査研究レポート	
「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について	54

1 石川県民大学校

石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 8年	325 (107)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 9年	332 (117)	平成29年	1,178 (32・4)
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



いしかわ
県民大学校
まなびの心 かがやく人生

平成29年度
受講案内

石川県教育委員会



大 学 校

```
graph LR; A[学習希望者] --> B[教養講座 30単位未満  
教養学習コース]; A --> C[専門講座 30単位以上  
文化探究コース  
国際理解コース  
スポーツコース  
放送利用コース  
能力開発コース]; B -- "45単位修得" --> D[大学校修了者]; C -- "45単位修得" --> D; D --> E["* 大学校修了者の希望者"]; E --> F["専修コース  
(自然・歴史・文学)  
石川県に関連したより  
専門的な学識の修得を  
目指します"]; E --> G["講師養成コース  
講師として生涯学習に  
関する講座の企画運営  
を行う人材を目指しま  
す"]; F --> H[大学院修了者]; G --> H; H --> I["* 修了者の希望者"]; I --> J["希望する方は  
生涯学習セン  
ターのあいあ  
いネットに講  
師登録します"];
```

The flowchart illustrates the educational path from initial learning expectations to university graduation. It starts with 'Learning Expectations' (学習希望者) who choose between two tracks: a Liberal Arts track (教養講座) or a Specialized track (専門講座). Both tracks require earning 45 credits before becoming 'University Graduates' (大学校修了者). From there, graduates can pursue either a Major Course (専修コース) or a Teacher Training Course (講師養成コース), both requiring further credit accumulation. Finally, they become 'Graduate School Graduates' (大学院修了者), who may then register as instructors through a specific network.

(2)石川県民大学校の入校状況(平成29年度)

表 1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,142	10,294
専門講座	文化探究	9	266
	国際理解	12	136
	スポーツ・生活	5	15
	産業・情報	0	0
	能力開発	3	188
	放送利用	3	0
	計	32	605
大学院	専修自然・歴史・文学	3	31
	講師養成	1	7
合 計		1,178	10,937

表 2 地区別入校者割合 (%)

地 区 名	入校者割合
加賀市	0.8%
小松市・能美市・能美郡	4.3%
白山市・野々市市	10.1%
金沢市	57.2%
かほく市・河北郡	4.3%
羽咋市・羽咋郡	3.2%
七尾市・鹿島郡	3.4%
輪島市・鳳珠郡	8.6%
珠洲市	2.4%
不明・県外	5.7%
合 計	100

表 3 年齢・男女別入校者割合

年 齢	男 (%)	女 (%)	合計 (%)
19歳以下	6.7%	7.6%	14.3%
20歳～29歳	0.5%	2.4%	2.9%
30歳～39歳	1.2%	4.0%	5.2%
40歳～49歳	1.9%	5.9%	7.8%
50歳～59歳	1.9%	4.4%	6.3%
60歳～69歳	7.5%	12.1%	19.6%
70歳～79歳	9.6%	10.3%	19.9%
80歳以上	2.5%	2.3%	4.8%
不 明	7.8%	11.4%	19.2%
合 計	39.6%	60.4%	100%

(3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成28年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 176名

会 場

本多の森庁舎第2会議室

期 日

平成29年5月27日(土) 13:30～15:30

日 程

13:30～14:00	修了証書交付式 平成28年度修了生717名のうち84名(大学校70名、大学院14名)の方に、学長の谷本正憲石川県知事から修了証書が交付された。
14:10～15:30	記念講演 「ふるさと石川の文化から学んだこと」と題して、金沢大学名誉教授廣瀬幸雄氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川県民大学校・大学院修了証書交付式は、石川県議会議長など来賓11名のご臨席のもと、大学校70名、大学院14名を含む122名の参加で執り行われた。記念講演は、155名の参加で、金沢大学名誉教授の廣瀬幸雄氏を講師に招いて行われた。「人里離れた医王山で、危険で誰もやらない水素焙煎機の製作に取り組まれたこと」、「無臭のスチームドライトレを開発され、無償で岩手県陸前高田市に設置し被災地の方々に大変喜ばれたこと」、「山中温泉は、日本でも有数の水素を多く含む泉質で健康に良いこと」など、先生が長年研究されてきたことなどを、時々ユーモアを交え楽しくご講義いただき、受講生に大変好評であった。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成29年5月27日(土)～平成30年1月20日(土)

会 場

本多の森庁舎会議室

定 員

講師養成コース 15名
専修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月27日(土) 13:30～15:30	記念講演「ふるさと石川の文化から学んだこと」 (石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	金沢大学名誉教授 廣瀬 幸雄	155人
2	6月2日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「ちっぽけな虫ミチオシエに学ぶ白山と能登のつながり」	石川県立大学客員教授 上田 哲行	20人
3	6月5日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「ダメ男のいる文学史 石川編」	金沢大学准教授 飯島 洋	28人
4	6月12日(月) 13:30～15:30	専修コース自然 「金の街・金沢で金と銀の不思議を探る」	金沢・金の科学館代表 四ヶ浦 弘	29人
5	6月16日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「明治初期に於ける石川県の宗教問題 ～主として 廃仏毀釈のこと～」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	64人
6	6月21日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「本多図書家宛加賀藩知行宛行状を読み解く」	高岡法科大学准教授 本多 俊彦	41人
7	6月23日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「偶然、発見した植物に戸惑う!! ～野外植物調査の 同定～」	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	19人
8	6月26日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「国貞えがく ～泉鏡花と絵画の世界」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	25人
9	6月28日(水) 13:30～15:30	専修コース文学 「芥川龍之介が書いた金沢、歩いた金沢」	金沢大学准教授 鈴木 暁世	30人
10	6月30日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「古代能登のモノ作り ～古代～中世の産業を考える」	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	31人
11	7月3日(月) 13:30～15:30	専修コース自然・歴史・文学 「論文作成講座」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	12人
12	7月5日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	8人
13	7月6日(木) 13:30～15:30	専修コース自然 石川県立自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 中村 浩二	3人
14	7月7日(金) 10:00～12:00	専修コース文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館司書主査 水本 京子 他	1人
15	7月7日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館司書主査 水本 京子 他	6人

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
16	7月12日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「シンプルで伝わりやすいプレゼン資料の作り方」	あぼじら代表 伊藤 雅恵	8人
17	7月19日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	9人
18	7月28日(金) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	7人
19	9月19日(火) 13:30～14:30	専修コース自然 試論指導	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	2人
20	9月20日(水) 13:30～14:30	専修コース文学 試論指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
21	9月21日(木) 13:30～14:30	専修コース歴史 試論指導	石川県立図書館史料編さん室専門員 石田 文一	2人
22	9月26日(火) 13:30～14:00	専修コース文学 試論指導	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	1人
23	9月26日(火) 13:30～14:00 14:30～15:00	専修コース歴史 論文指導	高岡法科大学准教授 本多 俊彦	2人
24	9月29日(金) 13:30～14:30	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	2人
25	10月13日(金) 13:30～14:30	専修コース自然 論文指導	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	2人
26	10月16日(月) 13:30～14:00	専修コース文学 試論指導	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	1人
27	10月18日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 講座企画書指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	5人
28	10月19日(木) 15:30～16:30	専修コース歴史 論文指導	石川県立図書館史料編さん室専門員 石田 文一	2人
29	10月23日(月) 15:30～16:30	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学教授 本康 宏史	2人
30	10月24日(火) 14:30～15:00	専修コース歴史 論文指導	高岡法科大学准教授 本多 俊彦	1人
31	10月24日(火) 14:00～15:00	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
32	10月27日(金) 13:30～14:30	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	2人
33	11月22日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	5人
34	1月20日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「ゲーム理論－社会科学の新手法」	北陸先端科学技術大学院大学助教 佐々木 康朗	42人
合 計				571人

※1～10及び34の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文等の指導により、修了生のべ17名の研究成果を「石川の博士論文集」としてまとめることができた。

大学院については、継続受講者が多い一方で、新規の受講者数が少ない傾向にあり、大学の修了生に対し、大学院への挑戦をはたらきかけていきたい。

また、一般の方への「開放講座」としている専修コースの基本講座については、より積極的な広報に努め、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をととして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成30年1月20日（土） 13:30～15:40

会 場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成29年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 42名

日 程

13:30～14:30	論文発表 ①「桜のコミュニケーションについての理論的考察Ⅲ」 専修コース自然代表 刈本 博保 ②「郵便創業期の江沼郡 ～飛脚から新式郵便」 専修コース歴史代表 角谷 優二 ③「平家物語・白山登場の考察 ～白山の神輿～」 専修コース文学代表 岸端 敏幸 ④「シルバー世代の食品保健衛生 ～これでいいの、よかったの？」 講師養成コース代表 相川 恵子
14:40～15:40	記念講演 「ゲーム理論 -社会科学の新手法」 北陸先端科学技術大学院大学助教 佐々木 康朗

事業の評価(成果・課題)

今年度の大学院受講者のべ17名から、4名の代表がいずれも独自の視点に立った研究の成果を発表した。また、大学院の全受講者の論文概要を記載した資料や大学院のカリキュラムを記載した資料を配付し、大学院受講生以外の一般受講者に対しても大学院講座の広報に努めた。

記念講演では、比較的新しい分野「ゲーム理論」をテーマに、北陸先端科学技術大学院大学の若手講師を起用し、専門的な研究について、身近な事例も交えて分かりやすく解説いただいた。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
大 学 校	教 養 講 座 計	983	1019	1,050	1,099	1,154	1,178	1,142
	文化探究コース	9	8	7	6	7	7	9
	国際理解コース	12	12	12	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	4	4	4	4	4	5	5
	産業・情報コース	1	1	0	0	0	0	0
	能力開発コース	5	3	4	4	2	3	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	34	31	30	29	28	30	32
	大 学 校 計	1,017	1,050	1,080	1,128	1,182	1,208	1,174
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,021	1,054	1,084	1,132	1,186	1,212	1,178

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	5	3	2	2	2	2
	講 座 数	52	39	60	35	43	40	35
知事部局等	機 関 数	31	30	33	30	22	21	23
	講 座 数	185	187	191	206	181	182	220
県 立 学 校	機 関 数	52	52	34	22	12	10	7
	講 座 数	53	52	35	26	13	11	8
県 教 委	機 関 数	12	12	12	12	12	12	11
	講 座 数	178	186	206	212	215	223	226
県 機 関 計	機 関 数	95	94	79	64	46	43	41
	講 座 数	416	425	432	444	409	416	454
市町村教委	機 関 数	37	50	58	65	41	41	32
	講 座 数	154	202	230	274	151	165	116
各 種 法 人	機 関 数	38	41	41	44	53	53	51
	講 座 数	272	260	246	260	476	478	466
各 種 団 体	機 関 数	19	19	20	18	17	17	14
	講 座 数	127	128	116	119	107	113	107
合 計	機 関 数	192	209	201	193	159	156	140
	講 座 数	1,021	1,054	1,084	1,132	1,186	1,212	1,178

表3 入校者数の推移

(単位 : 人)

年 度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
大 学 校	○教養講座 計	6,970	7,279	6,859	8,700	8,774	9,893	10,341	119,187
	文化探究コース	299	347	209	111	239	230	266	12,903
	国際理解コース	167	172	179	133	146	135	136	9,020
	スポーツ・生活コース	0	0	33	9	0	20	15	8,167
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	123	78	172	202	146	205	188	7,690
	放送利用コース	4	2	1	7	14	21	0	1,492
	○専門講座 計	593	599	594	462	545	611	605	43,754
大 学 院	専修コース	86	77	57	37	44	32	31	1,713
	講師養成コース	15	10	14	6	4	9	7	395
	○石川の博士養成講座 計	101	87	71	43	48	41	38	2,108
合 計		7,664	7,965	7,524	9,205	9,367	10,545	10,984	165,049

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(平成30年3月末現在)

(単位 : 人)

年 度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
大 学 校	○教養講座 計	262	260	197	308	232	261	186	3,688
	文化探究コース	203	190	264	111	187	184	266	4,991
	国際理解コース	42	90	90	71	88	83	113	2,237
	スポーツ・生活コース	1	0	33	9	0	20	15	1,816
	産業・情報コース	7	2	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	20	26	0	35	128	140	171	4,070
	放送利用コース	2	2	1	0	0	2	0	47
	○専門講座 計 (コース重複)	275 (0)	310 (0)	388 (0)	226 (0)	403 (1)	429 (0)	565 (0)	13,210 (593)
大 学 院	専修コース	25	25	30	23	19	21	12	534
	講師養成コース	5	2	5	3	2	6	5	172
	○石川の博士養成講座 計	30	27	35	26	21	27	17	706
合 計		567	597	620	560	656	717	768	17,604

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(平成29年度修了生の内訳)

(単位 : 人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大学校	男 性(人)	8	2	1	4	8	84	128	38	35	308
	女 性(人)	10	1	5	14	36	137	137	30	73	443
大学院	男 性(人)	0	0	0	0	1	4	9	0	0	14
	女 性(人)	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
合 計	人 数(人)	18	3	6	18	46	225	274	70	108	768
	割 合(%)	2.3	0.4	0.8	2.3	6.0	29.3	35.7	9.1	14.1	100

2 講座事業

(1) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座を実施する。

対象・定員

一般 130名

会 場

本多の森庁舎 第一会議室

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月29日(土) 13:30～15:00	金沢の酒づくり 町づくり	(株)福光屋 代表取締役社長 福光 松太郎	157 人
2	8月5日(土) 13:30～15:00	世界の名物 日本料理	日本料理 銭屋 主人 高木 慎一朗	142 人
3	8月19日(土) 13:30～15:00	現代の「天女の羽衣」 ～世界のトップ技術～	天池合織(株) 代表取締役社長 天池 源受	119 人
4	8月26日(土) 13:30～15:00	復元画を描く ～金沢城とギリシア神殿～	歴史考証復元画家 末松 智	134 人
5	9月10日(日) 13:30～15:00	「能登」を通して伝える	季刊『能登』編集長 経塚 幸夫	120 人
6	9月16日(土) 13:30～15:00	和ろうそくって何だろう？	高澤ろうそく 代表取締役 高澤 久	104 人
7	10月20日(金) 13:30～15:00	上杉謙信と加越能	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫	153 人
8	11月2日(木) 13:30～15:00	金沢の風土と暮らしの知恵	加能民俗の会会長 小林 忠雄	123 人
9	11月11日(土) 13:30～15:00	次世代の手仕事 ～デジタル×伝統技術～	secca inc.(株)雪花)代表取締役 上町 達也	95 人
10	11月25日(土) 13:30～15:00	毎日つかう漆のうつわ	輪島塗伝統工芸家 赤木 明登	93 人
合 計				1,240 人

事業の評価(成果・課題)

どの講座も100名以上の申込みをいただき、多くの県民が本講座に高い関心を持っていることがうかがえる。当日の受講者数にばらつきはあるものの、定員を超える参加があった講座が4回、100名以上の参加があった講座が8回となった。定員に対する受講率は、95%（前年度104.9%）受講者数は、1,240名（前年度1,364名）と減少する結果となった。原因としては、当日の天候等による出席率の著しい低下や広報不足が考えられる。これまで図書館や公民館等を中心にリーフレットを配布してきたが、今後は学校や他の文化施設等、今まで以上に広報の範囲を拡大する必要があると考えられる。

開催日に関しては、今年度土日開催を8回（前年度7回）とした。アンケート等では、「土日開催だと参加しやすい」との声が多く寄せられた。今後も土日開催を中心として、曜日配分のバランスを工夫していく必要がある。

講座の内容については、満足度（満足・やや満足の合計：以下同様）94.6%、興味・関心の高まり95.6%、知識の深まり90.2%、愛着・誇りの深まり91.3%、伝えたい気持ち・おもてなしの心の高まり84.8%と好評で、良い成果を得ることができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(2) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する6回の講座を実施する。

対象・定員

第1・2・3・5・6回：一般 35名、第4回：一般 20名+20名

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	5月24日(水) 8:00～16:30	能登守護畠山氏と長谷川等伯を訪ねて	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明 石川県七尾美術館次長・学芸員 北原 洋子	34 人
2	6月22日(木) 8:00～16:30	「漂着神(ヨリガミ)」の聖地を巡る	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	33 人
3	7月22日(土) 8:00～16:30	白峰の暮らしと白山信仰	白山しらみね自然学校代表 山口 幸一 石川県立白山ろく民俗資料館館長 山口 一男	32 人
4	8月31日(木) A) 9:30～12:30 B)13:30～16:30	芭蕉が訪ねた金沢 ～おくのほそ道を歩く～	金沢学院大学特任教授 柳澤 良一 俳文学会員 山根 公	44 人
5	10月4日(水) 8:00～16:30	大聖寺城と城下町の魅力を訪ねる	加賀市教育委員会文化財保護課主査 戸根 比呂子	35 人
6	10月26日(木) 13:30～16:30	小立野寺院群・石引を巡る	金沢観光ボランティアガイドの会 「まいどさん」研修部長 桜井 保明	32 人
合 計				210 人

事業の評価(成果・課題)

バス4回(加賀2・能登2)、徒歩2回(金沢)の計6回の講座は、ほとんどの回で天候にも恵まれ、事故もなく実施できた。前年度同様、バス利用の回は、金沢駅発着にすることと途中乗降場所を設けることを継続した。その結果、全6講座合計で、能登から20名、加賀から13名の参加があった。今後も、金沢市以外に在住する県民の参加を増やすための工夫に努めていきたい。

今年度も応募数が非常に多く、620通(前年度601通)となり、高い関心をいただいた。そのため、金沢市内での講座においては、若干名増員して開催した。しかしながら、バス利用の回は講座運営と安全を考え、増員は断念した。そのため、当選確率は6回の平均36.8%(前年度32.2%)となり、1回も当選できない方が多く出てしまう結果となり、「実施回数・定員を増やしてほしい。」という要望も多かった。

講座の内容については、「興味が持て、参考になる内容だった」の項目について「とても良かった」と「良かった」の割合が99.5%だった。「普段目にしている内容に奥深くはわかっていなかった。」、「個人やツアーでは行かない・行けない場所の説明を受け、理解が深まった。」、「五感で感じる講座は、どれもわかりやすく、印象に残る。」といった感想も多く、現地講座ならではの「直接、見て、聞いて、触れる」という、より深い学びの場を提供することができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(3) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校：児童・生徒 ※小学校は、原則４年生以上

公 民 館：一般

日 程

① 小・中学校(6校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月20日(火) 9:30～11:30	羽咋市立 西北台小学校 (5)	イカリモンハンミョウの生態	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨 イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	17 人
2	9月22日(金) 14:00～14:45	川北町立 川北小学校(6)	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	42 人
3	9月27日(水) 11:00～12:30	金沢市立浅野 川小学校 (5)	さつまいも（五郎島金時） について学ぼう	JA金沢市さつまいも部会 同市 藤村農園 (生産者) 藤村 幸司	70 人
4	11月1日(水) 14:00～15:10	金沢市立 三馬小学校(4)	金沢の三文豪	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	129 人
5	12月1日(金) 8:30～10:30	金沢市立 馬場小学校(5・ 6)	郷土料理作りに挑戦！	北陸学院大学 短期大学部 食物栄養学科長 教授 新澤 祥恵	37 人
6	1月19日(金) 14:30～15:50	小松市立 苗代小学校(4)	石川の伝統工芸 九谷焼の歴史や創作の心	九谷焼 伝統工芸士 浅蔵 一華	107 人
合 計					402 人

② 公民館(9館)

番号	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	7月3日(月) 19:30～21:30	白山市 館畑公民館	白山の気象と自然 ～登山の知識～	石川県山岳協会 会長 高田 和彦	15 人
2	7月11日(火) 10:00～12:00	野々市市 押野公民館	霊峰白山にみる歴史と信仰 について	ほっと石川観光ボランティア 事務局 辻 貴弘	20 人
3	8月6日(日) 10:00～12:00	金沢市 菊川町公民館	親子で金沢の伝統料理を調理し、マナーや食文化について学ぶ	料理研究家 北尾 千鶴子	11 人
4	8月19日(土) 10:00～12:00	宝達志水町 同町公民館	発酵食を学ぶ (石川の発酵食文化)	麺料理研究家 小紺 有花	17 人
5	10月5日(木) 13:30～15:30	輪島市 剣地公民館	里海を大切に ～海藻を中心にして	水産総合センター 池森 貴彦	32 人
6	10月22日(日) 10:00～12:00	金沢市 菊川町公民館	金沢の伝統料理を親子で学ぶ	料理研究家 北尾 千鶴子	22 人
7	11月14日(火) 13:00～15:00	野々市市 野々市公民館	松任の歴史と街並み	白山観光連盟ボランティアガイド 渕野 悦子	23 人
8	2月24日(土) 14:00～15:30	輪島市 鳳至公民館	輪島の歴史について	加能地域史研究会 左古 隆	27 人
9	2月25日(日) 14:00～15:30	野々市市 郷公民館	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイド まいどさん 中田 廉子	20 人
合 計					187 人

事業の評価(成果・課題)

ふるさと石川について、各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣することができた。各地域に密着したテーマが多く取り上げられ、地域の子どもを教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができたと考えられる。

5年目となる本講座では、継続してお願いしている講師もあり、対象年齢や講座内容に適した講師を選定しやすくなり、「学校・公民館」と「地域の先生」とを結びつける役割も担えた。「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」ことを通して、学習の場を提供して下さった講師が多かった。仕事への情熱、生き様等、講師の存在そのものに直接ふれることができるよい機会ともなった。

また、屋外での学習や、調理実習等の活動を伴う講座で3校が講座を利用した。また、学校については、従来の各市町教育委員会を通しての申込みを改め、本年度から直接センターに申し込む形に変更し、作業の軽減化ができた。

講座の内容については、アンケートで「とても良かった」と「良かった」の合計が100%と高い評価を受けており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えられる。

出前講座の良さを知る施設の継続実施は良いことであるが、反面、実施施設の固定化や、複数回の実施が見られることは課題でもある。新規実施施設の開拓、効果的な通知や広報の模索を続けたい。

(4)あすなろ悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして、講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

参加対象・定員

一般 20名～50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月9日(火) 14:00～15:30	歴史講座 殿様はつらいよ お家騒動物語	中田 廉子	46人
2	5月16日(火) 14:00～15:30	健康講座 傘寿さんさん(2)	西本 宗之助	28人
3	5月18日(木) 14:00～15:30	心理学講座 幸せな時間のすごし方	山本 紀子	23人
4	5月22日(月) 14:00～16:00	歴史講座 ピラミッドの真実①	堀川 惇夫	37人
5	5月23日(火) 14:00～16:00	歴史講座 ピラミッドの真実②	堀川 惇夫	35人
6	5月31日(水) 14:00～15:30	健康講座 キレイの素は骨盤にあり！	酒井 彰子	31人
7	6月6日(火) 14:00～15:30	心理学講座 人に好かれる自分づくりIV	塚本 茂樹	27人
8	6月14日(水) 14:00～15:30	自然講座 ラン その不思議と魅力について	日尾 章	25人
9	6月19日(月) 14:00～15:30	生活講座 カラーコーディネート&ぬりえセラピー	渋谷 夏代	15人
10	6月24日(土) 14:30～16:00	生活講座 ワイン入門講座 ～国産ワインから学ぶワインの種類と飲み方～	木村 真樹	13人
11	6月27日(火) 14:00～15:30	経済講座 戦後72年 日本経済発展の軌跡	谷川 克己	39人
12	7月1日(土) 14:00～15:30	人生講座 松下理念と稲盛フィロソフィーに生き方を学ぶ	植茶 泰男	39人
13	7月4日(火) 14:00～15:30	文化講座 九谷焼絵付体験(6寸皿)	高畠 敏彦	5人
14	7月21日(金) 14:00～15:30	歴史講座 加賀藩主の病気にみる江戸期の健康の一考察	木下 幸子	51人
15	7月24日(月) 14:00～15:30	健康講座 身体健やかに 心楽しく	畠 紀子	16人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
16	7月27日(木) 14:00～15:30	経済講座 アベノミクス 4年間の成果とその評価	谷川 克己	34人
17	8月2日(水) 14:00～15:30	文化講座 大人も楽しい紙芝居！『地域の魅力を紙芝居で発信！』	森 とさえ	25人
18	8月8日(火) 14:00～15:30	歴史講座 ヘレン・ケラー女史の生涯と金沢来訪(2回)	北村 徹雄	17人
19	8月22日(火) 14:00～15:30	歴史講座 埋もれた郷土の歴史を掘り起こす	後藤 朗	34人
20	8月29日(火) 14:00～15:30	歴史講座 辰巳用水と板屋兵四郎の人物像	篠原 洋一郎	47人
21	9月1日(金) 14:00～15:30	生活講座 防災セミナー ～みちかな防災対策～	北潟 伸吉	中止
22	9月5日(火) 14:00～15:30	歴史講座 俳聖「松尾芭蕉」は何者か	後藤 朗	52人
23	9月12日(火) 14:00～15:30	歴史講座 箔打職人「越野左助」の功績	舟橋 弘美	29人
24	9月19日(火) 14:00～15:30	文学講座 誰でも小説が書ける基礎編	小村 輝男	7人
25	9月28日(木) 14:00～15:30	歴史講座 石川県の偉人 日本社会福祉法人の祖 小野太三郎の福祉の心	小坂 興繁	中止
26	10月3日(火) 15:00～16:30	自然講座 環境認知度(テーマ①:地球温暖化)	竹下 知子	18人
27	10月17日(火) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活？朱鷺保護活動から分かること	西屋 馨	16人
28	10月21日(土) 14:00～15:30	生活講座 片付けをデザインする ～住まい・身の回りの片付け術～	小坂 宗義	29人
29	10月24日(火) 14:00～15:30	自然講座 日本海の食用エビ・カニ類	本尾 洋	15人
30	10月28日(土) 14:00～15:30	歴史講座 台湾農業に大いに貢献した金沢出身の磯田謙雄	谷口 和男	23人
31	11月8日(水) 14:00～15:30	文化講座 癒しの健康オカリナ	上村 彰	中止
32	11月10日(金) 14:00～15:00	生活講座 消費者が見た石川の昭和	滝内 敏之	18人
合 計				794人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着し、今年度は29名の講師による32講座を開講予定であったが、3講座が中止となり、29講座が実施された。

参加人数は延べ794人と昨年度の817人（全34講座）をやや下回ったが、平均受講者数では昨年度を上回る結果となった。

講師の高齢化もあり、今後、辞退していく講師も見込まれるため、新たな講師となるべき人材を確保し、魅力的な新規講座を増やしていく必要がある。

(5) あすなろ悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講師となる「あすなろ悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者 3 名、修了者 3 名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	履修	参加者
1	7月 5日(水) 13:00～15:30	開講式 プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	3 人
2	7月12日(水) 13:30～15:30	シンプルで伝わりやすいプレゼン 資料の作り方	あぼじら 代表 伊藤 雅恵		3 人
3	7月19日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		3 人
4	7月28日(金) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝		3 人
5	平成29年度「あすなろ悠々塾」聴講 ※「あすなろ悠々塾」講座⑰～⑳の中から1つ以上聴講し、評価書を提出			選択	3 人
	8月2日(水)	あすなろ悠々塾⑰ 大人も楽しい紙芝居！『地域の魅力を紙芝居で発信！』			
	8月8日(火)	〃 ⑱ ヘレン・ケラー女史の生涯と金沢来訪(2回)			
	8月22日(火)	〃 ⑲ 埋もれた郷土の歴史を掘り起こす			
	8月29日(火)	〃 ⑳ 辰巳用水と板屋兵四郎の人物像			
	9月1日(金)	〃 ㉑ 防災セミナー ～みぢかな防災対策～			
	9月5日(火)	〃 ㉒ 俳聖「松尾芭蕉」は何者か			
	9月12日(火)	〃 ㉓ 箔打職人「越野左助」の功績			
	9月19日(火)	〃 ㉔ 誰でも小説が書ける基礎編			
	9月28日(木)	〃 ㉕ 石川県の偉人 日本社会福祉法人の祖 小野太三郎の福祉の心			
	10月3日(火)	〃 ㉖ 環境認知度(テーマ①:地球温暖化)			
	10月17日(火)	〃 ㉗ トキ復活？朱鷺保護活動から分かること			
	10月21日(土)	〃 ㉘ 片付けをデザインする ～住まい・身の回りの片付け術～			
	10月24日(火)	〃 ㉙ 日本海の食用エビ・カニ類			
	10月28日(土)	〃 ㉚ 台湾農業に大いに貢献した金沢出身の磯田謙雄			
	11月8日(水)	〃 ㉛ 癒しの健康オカリナ			
	11月10日(金)	〃 ㉜ 消費者が見た石川の昭和			
6	11月22日(水)	企画書発表会		必修	3 人

事業の評価(成果・課題)

今年度の修了生は3名となり、ここ5年間では最多であった。募集チラシを分かり易く、目立つようにした成果であったと考えられるので、さらにチラシを斬新にするなど、募集に工夫を重ね、埋もれた人材を掘り起こし、応募者を増加させる必要がある。

(6) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員基礎研修受講者 定員 100名

会 場

本多の森庁舎第2会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月29日(木) 13:00～14:30	人権講演会 演 題 「生きる力は自分の中にある！」	元NHK福祉番組アドバイザー 元NHKラジオキャスター 長崎 圭子	57人

(注) 参加人数内訳：一般24人、公民館職員基礎研修33人

事業の評価(成果・課題)

講演会では、講師が明るく前向きな性格でユーモアがあり、自身の体験談を踏まえて障害者の権利とエンパワメントに関する障害者差別と東日本大震災・熊本地震に学ぶ障害者防災等について、わかりやすく丁寧に、ご講演いただいた。受講者には、大変好評であった。次年度は、拉致により被害者となった方が、自ら拉致当時の様子から拉致被害者帰国にわたってのすべてを解き明かしていただくことを予定している。なお、昨年度と同様に一般の方々の参加を増やすべく、積極的にかつ広域にわたって広報したい。

(7)世界理解講座

趣 旨

中央で活躍する著名な講師を招いた「世界理解講座特別講演会」や、日本人学校経験者による「世界理解講座～世界そのまんま～」を実施し、県民が世界地理を学ぶ機会を提供する。

対象・定員

一般

日 程

日 時	内 容(演 題)	定員	会場	講 師	参加人数
6月25日(日) 14:00～15:30	特別講演会 「サハラ砂漠南縁サーヘルにおける黒アフリカ・イスラーム文明の形成」	50名	第3会議室	嶋田 義仁 中部大学中部高等学術研究所 客員教授	41 人
10月11日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「滞在記『ここはヴェネズエラなんだ!』から」	30名	教室1	宮永 久美子 ヴェネズエラ 元カラカス日本人学校教諭	35 人
10月15日(日) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「オーストラリアの歴史と日本人」	30名	まなびすと ルーム	松浦 直裕 オーストラリア 元シドニー日本人学校教諭	42 人
10月25日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「市民目線でのドイツ」	30名	まなびすと ルーム	福久 俊彦 ドイツ 元デュッセルドルフ日本人学校 教諭	47 人
				計	165 人

事業の評価(成果・課題)

今年度から、新たに「世界理解講座」を実施した。「特別講演会」は、昨年度から引き続き高校の地理教員で組織する「石川県高等学校野外調査研究会」と連携して実施した。今年は、アフリカ研究を行っている中部大学・中部高等学術研究所・客員教授の嶋田義仁先生をお招きした。新たに実施した「世界そのまんま」では、日本人学校経験者等で組織する石川県国際理解教育研究協議会の協力を得て初めて実施した。予想以上に受講者が多く、オーストラリア、ドイツの講座では、急遽会場を教室1から、まなびすとルームに変更した。石川県立生涯学習センター主催講座では、地理的分野の講座が少ないので、引き続き実施していきたい。

(8)ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

本多の森庁舎会議室、他

日 程

	日 時	対象・定員	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	5月3日(水) 13:30～15:00	一般 150人	「映画監督、しどろもどろ」 ～映画作りの1から10までしゃべります～	森 義隆 (映画監督)	151 人
2	8月11日(金) 13:30～15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で楽しく歌おう！」	井上 あずみ (歌手)	98 組 266 人
3	11月3日(金・祝) 13:30～15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で踊って大冒険！」 ～わくわくドキドキの旅に出よう！～	ラッキィ池田 (振付師)	88 組 242 人
4	2月3日(土) 13:30～15:00	小学生と その保護者 20人	「楽しい親子の筆文字アート」	上野さなみ	9 組 20 人
5	2月12日(月・休) 13:30～15:00	200人	「映画と私、今だから思うこと」	講 師 高良 健吾(俳優) 聞き手 森 義隆(映画監督)	212 人
合 計					891 人

事業の評価(成果・課題)

今年も年5回実施した。今年は、小学生とその保護者を対象としたワークショップ型講演会を3回、若年層を対象とした講演会を2回実施した。ワークショップ型講演会では、井上あずみ氏、ラッキィ池田氏を招いたが大変好評であった。若年層向け講演会では、5月の森義隆氏、2月の高良健吾氏と森義隆氏を招くことで、今まで県立生涯学習センターを知らなかった方々に当センターを知ってもらい良い機会となった。来年度も引き続き、魅力ある講師を招きたい。

(9) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	5月17日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとの彩り」 金沢のひなまつり	いしかわ人国記 近代医学の祖 黒川良安	その時歴史が動いた ＜乱世の英雄編＞ ミステリー大化改新 ～蘇我入鹿暗殺の実像～	42 人
2	5月31日(水) 14:00～16:00	〃 山野草・春の妖精たち	〃 哲学の士 西田幾多郎	〃 平清盛 早すぎた革新 ～平氏政権誕生のとき～	32 人
3	6月14日(水) 14:00～16:00	〃 咲き誇る 能登キリシマツツジ	〃 冬の華 中谷宇吉郎	〃 武田信玄 地を拓き水を治める ～戦国時代制覇への夢～	38 人
4	6月28日(水) 14:00～16:00	〃 6月の花嫁・風習に見る色彩美	〃 日本主義を訴える 三宅雪嶺	〃 信長 執念の天下統一 ～大坂本願寺との十年戦争～	35 人
5	7月19日(水) 14:00～16:00	〃 新緑の風・打越茶	〃 信と祈りの宗教家 暁鳥 敏	〃 兵法の道は人の道 ～宮本武蔵「五輪書」完成への苦闘～	41 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	8月 9日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとに元気！石川のモノづくり」 まわるまわる寿司コンベア ／回転寿司 石野製作所	いしかわ人国記 桃山美術の画聖 長谷川等伯	その時歴史が動いた ＜時代のリーダー編＞ 「板垣死すとも、自由は死せず」～ 日本に国会を誕生させた不朽の名言～	29 人
2	8月30日(水) 14:00～16:00	〃 城下町のかがやき 箔のチカラ ～箔一～ ／箔打紙 あぶらとり	〃 キリストと共に 高山右近	〃 「上杉鷹山 ふたたびの財政改革」	28 人
3	9月 20日(水) 14:00～16:00	〃 本物を越えた！風土に育まれた ヒット商品 ／スギヨ 食育	〃 キャンパスの美 高光一也	〃 「乱世を制するリーダーの条件」～ 湊川の戦い 足利尊氏～	25 人
4	10月4日(水) 14:00～16:00	〃 夜空のキャンパスに描く ／花火 北陸火工	〃 木工芸に新風を 氷見晃堂	〃 「天神・菅原道真 政治改革にたおれる」	32 人
5	10月18日(水) 14:00～16:00	〃 思い出を運ぶ こだわりのバス ／ジェイ・バス 小松市	〃 銅鑼の響きに 魚住安太郎	〃 「日出づる処の天子より」～聖徳太子、理想国家建設の夢～	30 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数
1	11月8日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科「ふるさとの手仕事」 庭師の誇り 雪吊りの技	映像の世紀 I 第1集 20世紀の幕開け カメラは歴史の断片をとらえ始めた	30 人
2	11月22日(水) 14:00～16:00	〃 これぞ紙業 祝いのハウライ	〃 第2集 大量殺戮の完成 塹壕の兵士たちはすさまじい兵器の出現を見た	23 人
3	12月6日(水) 14:00～16:00	〃 旨口の極み 能登杜氏	〃 第3集 それはマンハッタンから始まった 噴き出した大衆社会の欲望が時代を動かした	29 人
4	1月10日(水) 14:00～16:00	〃 城下の心意気 左官	〃 第4集 ヒトラーの野望 人々は民族の復興を掲げたナチス・ドイツに未来を託した	28 人
5	1月24日(水) 14:00～16:00	〃 風土を灯す 能登ちようちん	〃 第5集 世界は地獄を見た 無差別爆撃、ホロコースト、そして原爆	19 人
1期から3期までの合計				461 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も3期に分け、それぞれテーマを変えて開講した。

県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」は、「ふるさとの彩り」「ふるさとに元気！石川のモノづくり」「ふるさとの手仕事」の3テーマを、3期に分けて活用した。

また同じく県民大学校放送利用講座として放送されていた、石川の偉人たちを取り上げた「いしかわ人国記」を、1期・2期に活用した。

いずれの作品も、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

その他、1期・2期に「その時歴史が動いた」の＜乱世の英雄編＞と＜時代のリーダー編＞を、3期に「映像の世紀I」を活用したが、歴史を貴重な映像で知ることができたと好評であった。

「その時歴史が動いた」は歴史を大きく動かした人物の決断や苦悩を描いたドラマであり、「映像の世紀I」は初めて歴史が「動く映像」として記録された20世紀を鮮やかに浮き彫りにしたドキュメンタリーである。

いずれも解説を加えることでより理解しやすくなっており、これもこの講座が好評である一因となっている。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質のビデオ教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

なお、3期に分けて実施することで、年間を通じた実施テーマを広くすることができ、より多くの県民ニーズに応えられるようになっている。

(10) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する貴重な16ミリ映像教材を活用し、体験することが難しくなりつつある映写機によるフィルム上映の味わいとともに、過去の自然文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演題)	参加人数
1	7月24日(月) 14:00～15:30	①能登門前アヤマメハギ ②金沢・伝統工芸と芸能 ③山に生きる	7 人
2	8月20日(日) 14:00～15:45	①路傍の石	15 人
3	9月25日(月) 14:00～15:30	①明日への躍動 ～石川国体の記録～ ②雪と災害	9 人
4	11月2日(木) 14:00～16:00	①次郎物語	27 人
5	11月27日(月) 14:00～15:30	①ほほえみの石川国体 ～第27回全国身障者スポーツ大会の記録～ ②北陸路と自然	11 人
合 計			69 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料に加え、文芸作品など貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見ることのできない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

当センター視聴覚ライブラリーでは、今後も16ミリフィルムやVHSテープも大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

なお、本多の森シネマアーカイブでは、次年度以降16ミリフィルムに加えVHSテープも取り扱う予定である。

(11)本多の森映画会

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	11月3日(金・祝) 10:00～12:00	「深夜食堂 ～小腹も心も満たします～」	51 人
2	11月3日(金・祝) 14:00～15:30	「ラジオ ～復興と未来のために伝えたいことがある～」	21 人
3	2月10日(土) 14:00～16:00	「NORIN TEN 稲塚権次郎物語」	30 人
合 計			102 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、食堂を舞台に織り成す人間模様や、「農」の神様と呼ばれた育種者の半生を描いた近年制作の作品に、震災からの「心」の復興がテーマのTVドラマを加え全3回の上映を行った。

メインターゲットとした中高年世代に大変好評であり、継続して映画上映会の実施を望む声が多く聞かれた。

実施日については、秋季及び冬季ミュージアムウィーク期間中の祝日や土曜日の開催とし、より多くの方が視聴できるようにした。

今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会の実施を検討したい。

(12) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回 200 名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月1日(火) 14:00～15:30	①「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 一足千里のわらじ/山伏と白い猿/月日がたつのは早い ②「ドナルドダック 1」より ドナルドのベルボーイ/ドナルドのパイロット/ ドナルドの透明人間	193 人
2	8月2日(水) 14:00～15:30	③「レオ・レオニ 5つの名作集」より フレデリック/コーネリアス/ぼくのだ!わたしの よ!/さかなはさかな/スイミー (両日とも同じ作品を上映)	168 人
合 計			361 人

事業の評価(成果・課題)

例年、予約で満席となり申込みを断っている状況が続いていたことから、平成27年度より2日間同一プログラムで上映することとし、参加者の分散と予約受付の柔軟性向上を図っている。また、幼児や低学年の児童の参加が多いことから、今年度から上映時間の短縮と内容の見直しを行った。

臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

次年度以降も、鑑賞に適した同会場の利用を継続し、多くの参加者が鑑賞しやすいように、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らしていきたい。

なお、この映画会は平成28年度より「いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール～進め!出世街道～」事業の1つとなっている。

(13) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回40名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月 17日 (木) 10:00～11:30	①「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より ヤマタノオロチ／サトリ女と桶屋／匂いのお返し ②ムーミン谷の彗星 両日とも、午前・ 午後の各回、同 じ作品を上映	26 人
2	8月 17日 (木) 14:00～15:30		37 人
3	8月 18日 (金) 10:00～11:30		34 人
4	8月 18日 (金) 14:00～15:30		31 人
合 計			128 人

事業の評価(成果・課題)

平成26年度より実施している事業で、上映は当センターで行った。また広報は「夏休み子ども映画会」同様、公民館等社会教育施設のほか、金沢市内の学童クラブ、幼稚園・保育園に対しても行った。

8月の休業期間中の行事としてのニーズに合致したことから、児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込むことができた。

「夏休み子ども映画会」と併せ、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、引き続き次年度以降の実施と、より多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりの検討を行いたい。

なお、この事業も28年度より「いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール～進め！出世街道～」事業の1つとして実施している。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」・「講師案内」・「視聴覚教材情報」・「ふるさと情報」・「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び、当センターの主催講座「ふるさとモット学び塾」の講座の一部の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応じて、充実した生涯学習情報を県民に提供するシステムである。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

＜データベース＞ 16,838件

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	11,585件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	301件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	2,025件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	422件
映像	今蘇る石川の記録映画・講座ビデオ(ふるさとモット学び塾等)	67件

利用状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
データベース	44,162	48,350	50,476	52,301	54,096

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー（マナビィコーナー）・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時 間

年末年始を除く 毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオ等）の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対 象

各市町教育委員会、公民館及び団体等（ビデオ・CD・DVDは個人も対象）

開館日・時 間

年末年始を除く 毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

視聴覚教材保有状況

区 分 \ 本 数	平成28年度末	平成29年度		合 計
		購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム	1,556 本	本	本	1,556 本
ビデオテープ	5,929		-1	5,928
CD	823			823
DVD	1,661	71	74	1,806

利用状況

区 分 \ 本 数	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	74	4,093	82	3,118	73	2,852	83	2,684	32	784
ビデオテープ	1,185	5,618	282	4,629	72	2,999	63	4,443	25	799
CD	331	867	656	1,113	900	1,895	430	817	376	750
DVD	1,712	9,623	2,985	13,311	3,233	17,362	2,954	12,406	2,505	11,870

(4) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月26日 第274号	表題 「生涯学習機能の更なる充実をめざして」 執筆者 石川県立生涯学習センター館長 平 聖一郎	表題 「生物環境の悪化を訴える生き物たちとの出会いについて」 執筆者 NPO法人日本中国朱鷺保護協会 事務局長 西屋 馨
11月30日 第275号	表題 「学びを通じて地域を『みる』」 執筆者 金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	表題 「子どもの健やかな成長と俳句」 執筆者 石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会 委員長 中川 雅雪

(6) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月1日(土)～4月28日(金) 9:00～18:00	郷土の写真展	北島 旭
2	5月1日(月)～5月31日(水) 〃	絵本原画展 「とがのきハウスのゆかいな学校」	ケロンの小さな村 上乘 秀雄
3	6月1日(木)～6月30日(金) 〃	第2回森の都愛鳥会写真展 魅力の野鳥写真とナホトカ号重油汚染から 20年犠牲となった海鳥	森の都愛鳥会
4	7月2日(日)～7月30日(日) 〃	ときめきの花と創作絵本展 ークレイクラフトと布花の彩りー	クレイクラフト アマン
5	8月2日(水)～8月30日(水) 〃	私のお気に入り写真展	伊戸川 和子
6	9月2日(土)～9月28日(木) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
7	10月1日(日)～10月31日(火) 〃	ファンタスティックアート展	桜蕊の会
8	11月1日(水)～11月30日(木) 〃	第37回石川県児童・生徒俳句大会入賞作 品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
9	12月5日(火)～12月27日(水) 〃	北陸満友会作品展	北陸満友会
10	1月5日(金)～1月30日(火) 〃	ステンドグラスに魅せられて(写真展)	畝野 菊雄
11	2月2日(金)～2月27日(火) 〃	泊雄歩と仲間たちの「墨・彩」展	泊 雄平(雄歩)
12	3月2日(金)～3月30日(金) 〃	陶心会作品展	陶心会

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、写真、絵画、クレイアート、刺繍、俳句、水墨画、陶芸、俳句などの展示を紹介できた。どの展示も作者の気持ちが伝わる作品で、学習意欲の高さを伺い知ることができ、来館者増や生涯学習の啓発にも繋がった。今後とも、県民に気軽に利用していただける、生涯学習につながる様々な情報を発信できるような「場」を目指して、工夫やPRに努めていきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月1日(木)	県推進事業の概要説明	石川県教育委員会生涯学習課課長補佐 網本 弘志	33 人
	10:00～12:00	「公民館地域間交流事業」実践発表	白山市教育委員会生涯学習課社会教育主事 東 雅宏	33 人
		「公民館地域間交流事業」実践発表	新神田少年連盟委員長 石黒 佳恵	33 人
		「公民館底力事業」実践発表	湯涌公民館 館長 新井 一浩	33 人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	33 人
	14:00～16:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	33 人
2	6月14日(水) 10:00～12:00	「地域を担う人材育成」	NPO法人きらりよしじまネットワーク事務局長	18 人
	13:00～16:00	〃 (グループ討議)	高橋 由和	
3	6月29日(木) 10:00～12:00	「コーディネート力向上」(ワークショップ)	金城大学社会福祉学部 非常勤講師 今井 和愛	33 人
	13:00～14:30	人権講演会 「生きる力は自分の中にある！」	元NHK福祉番組アドバイザー・同ラジオキャスター 長崎 圭子	33 人
	14:40～16:10	各公民館の現状と課題 (情報交換)	生涯学習センター 担当課長 松浦 直裕	33 人
4	7月7日(金) 10:00～12:00	コミュニケーション能力向上	杉原企画 代表 杉原 美佐子	20 人
	13:00～13:50	人が集まる！ライターの文章テク ニック	NPO法人百万石ワールドカフェ フリーライター 小杉 智美	20 人
	14:00～16:00	魅力的なチラシはテンプレートを変えろ	NPO法人百万石ワールドカフェ ITコーディネータ 迎 崇	20 人
5	7月20日(木) 10:00～12:00	先進的な公民館の実践事例紹介	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	33 人
	13:00～16:00	地域の未来を描いてみよう (ワークショップ)		
合 計				408 人

(注) ・6月1日・6月29日・7月20日は必修講座

・6月1日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催。(参加人数は上記以外に担当者基礎研修15人)

・6月14日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。(参加人数は上記以外に専門研修12人、市町等担当者研修19人) ※会場: 石川県行政庁舎1102会議室

・6月29日の「人権講演会」は、一般公開。(参加人数は上記以外に一般24人)

事業の評価(成果・課題)

前年度は、年度当初に履修要件の確認を行った結果、修了時にトラブルは生じなかった。今年度の修了者数は、館長19名、主事等11名。また、前年度は申し込み時点で、受講予定の確認ができず、欠席連絡等も不徹底であったため、グループ協議の班編成に支障をきたしたので、今年度に向け受講者調書の改善を行った。

来年度は、より講座内容を整理し、館長・主事等に求められる基礎知識・技能並びに最近の情報及び公民館の取組についての紹介等の講義を設定した。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月 22日(月) 10:00～12:00	公民館と生涯学習の推進	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	20 人
	13:00～16:00	「ワークショップ・ファシリテーション入門」	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八	
2	6月14日(水) 10:00～12:00	「地域を担う人材育成」	NPO法人 きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和	12 人
	13:00～16:00	〃 (グループ討議)		
3	7月13日(木) 10:00～12:00	全国の公民館の取り組み事例について	富山大学地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	19 人
	13:00～16:00	地域、家庭、学校の連携におけるネットワークづくり		
合 計				51 人

(注) ・5月22日、7月13日は必修講座

・6月14日は基礎研修及び専門研修並びに生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。

(参加人数は上記以外に基礎研修18人、専門研修12人、生涯学習・社会教育担当者等研修19人)

※会場:石川県行政庁舎1102会議室

事業の評価(成果・課題)

県内5市町から20人が受講し、今年度2年目に当たる館長1名、主事7名が修了した。前年度の受講者アンケートによると、他の公民館との情報交換ができてよかったとの声があり、今年度は全国の実践事例を取り入れるとともに、地域課題の発見と課題などのワークショップの時間を設定した。平成25年度から2年間の課程に変更後、参加市町が減少し、受講者は20名程度にとどまっている。基礎研修修了者が毎年20～40名程度いることから、来年度は、引き続き修了者への啓蒙及び過去の専門研修修了者に対して新しい情報を提供する場所として、オブザーバー参加を認めることとした。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

県・市町職員、公民館職員、NPO職員
 【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

本多の森庁舎会議室、等

日 程

【入門編】

番号	日	時	内 容	講 師	参加人数
1	7月 2日 (日)	10:00～16:00	入門講座①	NPO法人NPO政策研究所 理事 谷内 博史	39 人
2	7月 15日 (土)	10:00～14:50	〃 ②	〃	36 人
3	7月 15日 (土)	15:00～16:00	〃 ③	野々市市レクリエーション協会 理事長 畠 紀子	34 人
合 計					109 人

【応用編】

番号	日	時	内 容	講 師	参加人数
1	9月 7日 (木)	10:00～16:00	応用講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	12 人
2	9月 8日 (金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	13 人
3	9月26日 (火)	13:30～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	11 人
4	9月27日 (水) ～11月17日 (金)		実地体験(各自)		12 人
5	11月30日 (木)	13:00～16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	10 人
合 計					58 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、入門編の講師を新たにして、谷内博史氏を招いた。また、入門編3日目の内容を見直し、ワールドカフェ、アイスブレイクを学ぶ講座とした。入門編初日は、前日からの大雨のため、講師の谷内氏は氷見市の職員であり職場待機となったため、講座を実施できなかった。そのため1日短縮した日程となった。当初予定していた受講内容を見直ししたが、受講生には大変好評であった。来年度も引き続きこの形態で実施したい。入門編は土日実施で、応用編は平日実施だったが、土日しか参加できない受講者が多く、応用編の参加者が極端に少なかったため、来年度はそうならないように対応したい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対象・定員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者・30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月1日(木)	県推進事業の概要説明	石川県教育委員会生涯学習課 課長補佐 網本 弘志	15 人
	10:00～12:00	「公民館地域間交流事業」実践発表	白山市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 東 雅宏	15 人
		「公民館地域間交流事業」実践発表	新神田少年連盟 委員長 石黒 佳恵	
		「公民館底力実証事業」実践発表	湯涌公民館 館長 新井 一浩	
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	15 人
	14:00～16:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	15 人
2	6月2日(金) 10:00～12:00	地方創生時代の社会教育	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八	15 人
	13:00～16:00	生涯学習社会の必要性和市町担当者の役割	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	15 人
合 計				90 人

(注) ・6月1日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 33人)

事業の評価(成果・課題)

今年度の申込者は、15名。(平成27年度15名、平成28年度17名)

1日目は、公民館職員基礎研修と合同で生涯学習・社会教育の概要を学ぶ講座を実施。受講者からは、参考になったとの意見が多かった。

2日目は、午前、地方創生時代の社会教育と題して、また午後は、生涯学習社会の必要性和市町担当職員の役割についての講義を受け、他市町の新任の職員との意見交換を実施した。受講者からは、他市町の方と交流ができ、実践に役立つ内容であったと好評だった。

来年度も、1日目は公民館職員基礎研修と合同で実施するため、生涯学習・社会教育の意義と役割並びに公民館に関する現状と現場からの実践発表を取り入れることとした。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	4月11日(火)	9:00～12:00	1 人
2	1月31日(水)	9:00～12:00	1 人
合 計			2 人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施し、映写技術の継承を図っている。16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェアin本多の森

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会（*）

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
イ ベ ン ト	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の 紹介コーナー （石川県立自然史資料館、金沢市材木公民館、 金沢市小立野公民館、金沢市湯涌公民館、 石川県民大学校事務局）	10月26日(木) ～11月1日(水) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	2,907 人
	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の 紹介コーナー （石川県立自然史資料館、金沢市材木公民館、 金沢市小立野公民館、金沢市湯涌公民館、 石川県民大学校事務局）	11月2日(木) ～11月3日(金) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	2,278 人
展 示 ・ 実 演	ハンドベル演奏（北陸学院中学校）	11月3日(金) 15:15～15:30			
	第37回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展 （石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会）	11月2日(木) ～11月3日(金) 9:00～18:00	まなびすとルーム （マナビコーナー）	一 般 な し	108 人
	似顔絵コーナー（石川県立工業高等学校）	11月3日(金) 15:00～16:30	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 40名	67 人
	本多の森シネマアーカイブ④「次郎物語」	11月2日(木) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 60名	27 人
い し か わ 県 民 大 学 校 講 座	* 緑陰講座 in 本多の森⑩ 「近世のお城 栄光と受難の物語」 講師：中田 康子	11月2日(木) 14:00～15:40	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 30名	39 人
	ふるさとふれあい講座⑧ 「金沢の風土と暮らしの知恵」 講師：小林 忠雄(民俗学者)	11月 2日(木) 13:30～15:00	第1会議室	一 般 130名	123 人
	ファミリーカレッジin本多の森③ 「親子で踊って大冒険」 講師：ラッキィ池田	11月3日(金) 13:30～15:00	第1会議室	小学生 保護者 100組	242 人
	本多の森映画会 「深夜食堂」	11月3日(金) 10:00～12:00	第3会議室	一 般 80名	51 人
ビ デ 映 画 上 映 会 ・ 映 会	本多の森映画会 「ラジオ」	11月3日(金) 14:00～15:30	第3会議室	一 般 80名	21 人
	SVCビデオ作品上映会 （生涯学習センタービデオクラブ）	11月3日(金) 10:30～12:00	県民大学校教室1	一 般 20名	19 人
11月2日(水)～3日(木)の入館者数（上記以外の利用者を含む）					3,053 人

事業の評価（成果・課題）

9月中旬から行った広報活動や隣接するホールのイベントによる相乗効果などで、期間中の入館者数は平成28年度の2,843人から平成29年度は3,053人へと7.4%増加し、盛況であった。

今後も事業を継続し、生涯学習センターの取り組みについて県民の理解を得る機会としたい。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

能登半島地震から10年の節目に、県内の生涯学習・社会教育・学校教育等の関係者が集い「地域と連携・協働する防災教育」をテーマに、事例発表等を通して課題と展望を共有することで、『第2期石川県の教育振興基本計画』がめざす学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

協 力

石川県社会教育協会

対 象

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、学校教育関係者、PTA関係者等

会 場

地場産業振興センター コンベンションホール

参加人数

102人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
9月8日(金) 13:00～13:05	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 篠原 恵美子
13:05～13:20	講義 「能登半島地震をふりかえる」	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
13:20～14:20	基調講演 「震災後社会における社会教育の可能性」	筑波大学 名誉教授 手打 明敏
14:30～16:25	パネルディスカッション	コーディネーター 金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重 パネリスト 穴水町ボランティア連絡協議会会長 滝井 元之 石川県立門前高等学校教頭 長田 弥十雄 金沢大学ボランティアさぼーと ステーション 伊藤 果穂 みずき町会自主防災会防災長 城崎 亮
16:25～16:30	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

講義及び講演では、能登半島地震や東日本大震災において、地域のつながりの大切さが再認識されたことから、今後の社会教育に期待される役割は、地域の「学び」を支援することによって地域の課題解決につなげていくことであり、それが、ひいては地域の創生につながっていくことであることが学習できた。

パネルディスカッションでは、ボランティア連絡協議会から、被災者の心に寄り添うことが重要で、そのためには想像力を鍛えることが大切だとの意見があった。高校では、地震前から継続していたボランティア活動が災害時に活かされたので、今後もそのスピリッツを大切にしたいとのことだった。また、大学のボランティアグループからは、①被災者に寄り添う②よそ者だからできることを大切にする③東北を忘れないことが重要だ、という話があった。町会の自主防災会では、子どもを守るために自分たちが楽しいと思うことを続けていたところ、次第に地域全体の距離が縮まったということだった。

フォーラム全体をとおして、今日的課題となっている防災教育についても、団体ごとに活動するだけではなく、学校・家庭・地域が連携して活動していくことが重要であると学習できた。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

生涯学習および社会教育において、地域は学びあい場であるとともに、学びを通じた実践や課題解決の場となっている。地域に根ざした学びは、個人の人生を豊かにするのみならず、地域に活力をもたらす。

本研修は「地域を担う人材育成」をテーマに、学びを地域の活性化につなげている先進事例を学ぶとともに、人材育成の具体的な手法について考えることを通じて、豊かな地域づくりを目指し、生涯学習・社会教育職員として求められる資質を高める。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員、各市町の社会教育委員

会 場

石川県行政庁舎 1102会議室

参加者数

49人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員19人、公民館職員基礎研修18人、専門研修12名

期 日

平成29年6月14日(水) 10:00～16:20

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課長 篠原 恵美子
10:05～10:30	講義「住民の学びと地域づくり」	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
11:25～11:45	講演「住民が創る持続可能な地域づくり・ひとづくり」	特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和
13:00～16:00	ワークショップ「地域づくりを担う人材確保と、社会教育による人材育成」	特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和
16:00～16:10	コメント	金沢大学地域連携推進センター准教授 蜂屋 大八
16:10～16:20	全体講評および閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

講義では、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授が、「住民の学びと地域づくり」と題して - 地域を見る、観る、覧る、診る - を主題とし、学びは、自分づくりのための営み、攻めの社会教育の推進、学び重視による地域コミュニティの再生が肝要と講演された。

引き続き行われた基調講演は、(特)きらりよしじまネットワーク高橋由和事務局長が、「住民が創る持続可能な地域づくり・ひとづくり」をテーマとして、地域の住民が地域づくりの一役を担い、やりたいことをやるべきことに変えていくには、なぜそれを行うかの合意形成と、担い手の育成、資金力、情報の受発信やネットワークのシステム(仕組み)が必要であると強調された。また、地域経営の課題解決において、それを達成する事業や活動のPDCAサイクルを住民が学び、実践していく取り組みが必要であると言われた。

ワークショップでは、9グループに分かれ「地域づくりを担う人材確保と、社会教育による人材育成」というテーマで意見を出し合って課題解決のための方策について考え、人材育成の具体的な手法を学んだ。参加者の積極的な意見交換が見られた。

参加者を対象にしたアンケートでは、すべての研修について、80%以上が「非常に」・「ある程度有意義」であったと回答した。研修の趣旨がある程度、達成されたと考える。参加者からの要望には「今後も他の公民館との交流の場がほしい。」との声があり、今後も引き続き地域の生涯学習・社会教育の担い手のネットワークづくりが求められる。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

地域の生涯学習・社会教育の実現の推進において中核的な役割を果たす社会教育主事等の専門知識、技術、実践力の向上を図る。時代の流れに応じた企画力、発信力の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対象・定員

金沢大学社会教育主事講習修了者、社会教育主事、各市町の生涯学習・社会教育行政担当者、生涯学習・社会教育施設等に勤務している者

会 場

国立能登青少年交流の家

コスモアイル羽咋

参加人数

24人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
11月17日(金)		
13:00～14:00	開会・オリエンテーション	金沢大学 地域連携推進センター教授 浅野 秀重
14:10～15:10	講義「社会教育の動向」	金沢大学 地域連携推進センター教授 浅野 秀重
15:20～16:20	事例発表「通学合宿in永光寺と青年団協議会の取り組み」	羽咋市生涯学習課係長 駒井 有希子 羽咋市青年団協議会 吉野 輝子
16:30～18:30	ワークショップ 「地域の課題発見から解決へ」	金沢大学 地域連携推進センター准教授 蜂屋 大八
11月18日(土)		
9:00～11:00	施設見学 コスモアイル羽咋	

講義では、社会教育士など最新の国の動向が紹介され、大いに役立った。事例発表は、羽咋市での報告があり、羽咋市と青年団の取り組みが紹介され、他市町の参考となるものであった。ワークショップでは、フィッシュボーンなど、新しいワークショップの取り組みの紹介と作業があり今後のワークショップの実践に役立つ内容であった。

昨年度に比べ参加者が大幅に減少した。昨年度のアンケートで、能登での実施の要望があり、今年度は、国立青少年交流の家での実施となったが、参加者が大幅に減った。来年度以降の能登での実施については、再検討したい。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会、各市町教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教 育 事 務 所	参加人数	日 時	内 容 等
中能登	5 人	4管内の 合同開催 12月13日(水) 13:30～16:00	テレビ会議シンポジウム 「地域と学校の効果的な連携・協働の在り方を探る」 趣 旨 地域住民や保護者と学校が力を合わせ、その地域ならではの創意や工夫をこらした特色ある活動の事例発表や成果の共有を通じ、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを形成し、地域と学校が一体となって子供たちを育むために、両者がパートナーとして連携・協働する活動や体制の充実を図ることを目的とする。 また、昨年度に引き続き、金沢大学が有する遠隔地配信システムを利用した奥能登、金沢、小松をつないだ交流形式の会議とし、遠隔地交流における I C T 機器活用の一助とする。 ・金沢会場（金沢・中能登管内） 金沢大学地域連携推進センター 2階講義室 ・珠洲会場 金沢大学珠洲サテライト（奥能登管内） すず市民交流センター 3階第5会議室 ・小松会場 金沢大学小松サテライト（小松管内） こまつビジネス創造プラザ セミナールーム ■開会挨拶（13:30～13:35） 石川県立生涯学習センター 館長 平 聖一郎 ■講 義（13:35～14:00） 演 題「地域と学校との連携・支援について」 講 師 金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重 ■シンポジウム（14:00～15:30） 事例発表 ① かほく市教育委員会事務局生涯学習課 係長 四柳 智恵 「児童劇団 三郎左衛門一座 ～公民館・学校・地域のつながり～」 ② 七尾市能登島公民館 主事 谷内 玲香 「能登島地区における地域学校協働活動 -春休み宿題合宿・能登島子ども会議-」 ③ 能登町総務課秘書室 主査 綱屋 栄次郎 「能登高校魅力化プロジェクト『まちなか鳳雛塾』の取り組みについて」 ④ 能美市教育委員会事務局学校教育課 教育アドバイザー 新川 淑恵 「『つなぐ』から『つながる』へ ～コミュニティ・スクールの可能性～」 ＊発表会場 ①②金沢会場、③珠洲会場、④小松会場 ■意見交換及び質疑（15:30～16:00）
金 沢	16 人		
小 松	18 人		
奥能登	22 人		
合 計	61 人		

事業の評価（成果・課題）

昨年度からテレビ会議システムを利用した合同開催となり、アンケートでは、当システムを利用した研修についての評価は高く、今後も継続を希望する声が多かったが、カメラ、マイクの操作・使用方法には課題が残り、システム操作の精度を上げる必要がある。タイムリーなテーマであり、関心を持たれた方が多くいたが、参加者数が減少しているため、次年度に向けては、適切な開催日の設定、早期の周知で参加者の増加を図る必要がある。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月20日(火) 15:00～16:30	「ネットワーク社会と法的諸問題について」	金沢学院大学基礎教育機構 准教授 武村 敏幸	25 人

事業の評価(成果・課題)

ネットワーク社会における法的諸問題を取り上げ、一般県民にもわかりやすい解説がなされた。まとめサイトやランサムウェアなどニュースで取り上げられた話題や、SNSでのストーカー行為など生活上のトラブルやその関係する法律、ネットの画像・映像の著作権等、幅広い内容となり、様々な問題点を認識することができた。

技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般県民 ・ A日程 12名 ・ B日程 12名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	6月24日(土)・7月1日(土)・ 15日(土)・22日(土)・29日(土) 13:30～16:00	ビデオ撮影・編集に関する 講義、ビデオ編集実習	生涯学習センタービデオ クラブ(SVC)会員	40 人
2	9月16日(土)・23日(土)・30日(土) 10月7日(土)・21日(土) 13:30～16:00	〃	〃	46 人
合 計				86 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は受講者層を広くとるため、午後だけの時間帯で開催とし、かつ撮影から編集まで一貫して学ぶ内容で実施した。今後も、幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫し受講者層を広げ、映像制作文化の発展に寄与したい。

(7)ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを目指す。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

第1回： 公民館、図書館、各種団体職員等 9名

第2回： いしかわビデオ作品コンクール受賞者、一般県民 50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	11月14日(火) 9:30～16:30	学び直してスキルアップ！Microsoft Word 2013 使いこなし講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	6 人
2	3月9日(金) 13:30～14:30	記念講演 「今しかできない自分録 ～わたしが生きた証し～」	北豊映像 (おもいでビデオ工房) 代表 久保 政信	40 人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、Officeソフトの活用講座を実施した。現在、多くの生涯学習施設で使われていると思われるマイクロソフトオフィスについて、そのワープロソフトであるWord2013を用い、インストラクターによる指導での「学び直し」を行うことにより、自己流では習得の難しい正しく効率的な使用方法や有用な機能を学び、広報等の文書作成能力の向上を目指すことを目的とし、県内各地の公民館職員等を対象として講習会を行なった。

参加者からは、改めて基礎から学ぶことにより、自己流ではわからなかった使い方を知ることができた、などと好評であった。

今後はより多くの方に参加していただけるよう実施時期と期間の検討を行うとともに、学ぶ機会を提供し、実際の活動に取り入れられるよう基本的な技術と知識の習得を目指していきたい。

第2回は、平成29年度（第48回）いしかわビデオ作品コンクールの記念講演として実施した。コンクール受賞者のほかビデオ愛好家の方々が熱心に聴講された。講話は、テレビディレクターとして、また自分史ビデオのプロデュース業の経験からのもので、ビデオ作品制作に大変参考となるものであった。

(8) 平成29年度(第48回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成29年10月30(月)～平成30年2月2日(金)

応募規定及び表彰

応募規定 ①教材部門 ・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・学校紹介ビデオ

②一般部門 ・①以外のビデオ作品

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会賞もしくは石川県公民館連合会賞を、授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成30年2月15日(木) 13:30～16:30

表彰式 平成30年3月9日(金) 15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫 (金沢学院大学教授)＜審査委員長＞

中西恵理子 (県教育委員会生涯学習課)

平 聖一郎 (石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門・・・16点

②一般部門・・・6点

計22点

審査結果及び表彰者氏名

①教材部門	②一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 能登町を支える酒マスター チーム「シャイボーイ」 (石川県立能登高等学校)	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 加賀の総湯文化 高川 舞
優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 三尖塔・くらしの博物館 森本 重雄	優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 苔の里を訪ねる 小倉 健治
奨励賞 金沢泉丘高校 学校紹介2017 石川県立金沢泉丘高等学校放送部 大聖寺高等学校紹介ビデオ2017 石川県立大聖寺高等学校放送部	奨励賞 バンコクの街角で(仏教編) 西上 章

事業の評価(成果・課題)

平成29年度は、前年度より7点増の応募があった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

また、平成27年度以降、受賞作品のうち、作者の了解が得られた作品について、広く県民に観ていただけるよう、「あいあいネット」上で一般公開をしている。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第14号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月26日(月) 第14号	「ネットワーク社会と法的諸問題について」	金沢学院大学基礎教育機構 准教授 武村 敏幸

(10) 自主サークル

サークル名	活 動 内 容
生涯学習センタービデオクラブ (SVC)	毎月第2土曜日(13:30~16:30)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) ふるさとふれあい能登校講座

趣 旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について学び、郷土に対する理解を深め、誇りと愛着をもつ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月8日(木) 13:30～15:30	「能登で注目される海の民俗」	民俗学者 小林 忠雄	35人
2	6月19日(月) 13:30～15:30	「能登の戦国時代」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	51人
3	7月12日(水) 13:30～15:30	「世界農業遺産（G I A H S）と能登の未来可能性」	金沢大学地域連携推進センター・特任教授 宇野 文夫	23人
4	8月1日(火) 13:30～15:30	「能登に魅せられた二人の外国人」	石川県観光スペシャルガイド 藤平 朝雄	29人
5	9月5日(火) 13:30～15:30	「農家民宿で地域おこし」	春蘭の里実行委員会事務局長 多田 喜一郎	17人
6	10月5日(木) 13:30～15:30	「草木染の文化史『第二章 赤を染める』」	高校講師 登美 聡	18人
7	10月24日(火) 13:30～15:30	「白山の歴史と楽しみ方」	石川県白山自然保護センター専門研究員 平松 新一 石川県白山自然保護センター主任研究員 小川 弘司	18人
8	11月1日(水) 13:30～15:30	「江戸時代 能登のくらしと北前船」	石川県立歴史博物館学芸主幹 濱岡 伸也	29人
合 計				220人

事業の評価(成果・課題)

能登の歴史に興味・関心がある受講生が多いことから、今年度は、歴史に重きをおき講師を選定した。その結果として、大変好評で参加者増にもつながり、引き続き歴史を受講したいとの声が多かったので、次年度も歴史を中心に講演してもらおうのが望ましいと考えている。

(2) 能登文化講座

趣 旨

能登の地域住民が、著名な講師による専門性の高い講話を通し、より広い人生体験や歴史・文化にふれることにより、豊かな生活を営むと共に、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月8日(土) 13:30～15:00	「戦国の女城主 井伊直虎の生涯」	静岡大学名誉教授 小和田 哲男	230人

事業の評価(成果・課題)

小和田哲男氏は、今年度放映されたNHK大河ドラマの時代考証を務めておられることもあって、事前の反響が大きかった。昨年度はなかった問い合わせも多くあり、事前申込みも多かった。講演当日も参加者が、230名と盛況で大変好評であった。芸能人や有名人などの要望もあるが、受講者の心に残る内容や学習意欲を高める講座内容もニーズが高いということが改めて分かった。

(3) 能登の歴史探訪講座

趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深める。

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	10月18日(水) 13:30～15:30	「奥能登戦国合戦の世界」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	35人
2	10月23日(月) 13:30～15:30	「日本海の舟運と能登親湊」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	36人
3	11月 8日(水) 13:30～15:30	「長家文書と穴水城跡の見学」 (現地研修)	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	42人
合 計				113人

事業の評価(成果・課題)

受講生から要望が多かった講師を招いての講座であったので、加賀地区からの受講生もあり盛況であった。講座内容を奥能登地区を中心にしたことにより、身近な地域の歴史に対する興味・関心が高まり、今後の学習意欲にもつながったようだ。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	9月 1日(金) 13:30～15:30	「古文書の解読」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	30人
2	9月 8日(金) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会会員 南 龍保	27人
3	9月14日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会会員 左古 隆	31人
4	9月29日(金) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	27人
合 計				115人

事業の評価(成果・課題)

昨年同様、大変熱心で知識も豊富な受講生が多かった。講師の方々は細やかな準備をしてくださり、学習の場としてふさわしい雰囲気の中で実施された。質問内容もレベルが高く、単なる解読に留まらず、その時代の歴史考証をも含めた中身の濃い講座になった。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月13日(火) 13:30～16:30	成形	珠洲焼作家・県伝統工芸士 坂本 一郎	12人
2	6月14日(水) 13:30～16:30	〃	〃	12人
3	6月27日(火) 13:30～16:30	素焼	〃	13人
4	7月 4日(火) 13:30～16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	13人
5	7月11日(火) 13:30～16:30	鑑賞会・講評	〃	12人
合 計				62人

事業の評価(成果・課題)

継続受講している方が多く、技術・創作意欲とも高い。受講者同士の学び合いも技術レベルの向上につながっているようだ。ただ、今年度は、常連の受講者が昨年度より少なかったことから人数減につながった。新しい受講者参加に向けた広報活動が必要である。

(6) あすなろ悠々塾in能登

趣 旨

生涯学習活動等をとおして得られた研究成果を生かし、講師自らが企画・運営する。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月30日(火) 13:30～15:00	「身体健やかに 心楽しく」	畠 紀子	15人
2	7月18日(火) 13:30～15:00	「南極越冬記 ～極寒の地 南極昭和基地の越冬生活で学んだこと～」	坂下 大輔	27人
3	9月12日(火) 13:30～15:00	「骨董の世界 ～陶器の魅力～」	杉森 学	25人
4	11月17日(金) 13:30～15:00	「加賀藩主の病気にみる江戸期の健康の一考察」	木下 幸子	19人
合 計				86人

事業の評価(成果・課題)

今年度の講師は、各人経験が豊富であり、話し方も上手で好評であった。様々なジャンルの内容を聞いたことも、受講者が楽しく講座を聞いた要因である。まずは、話し方の上手な講師の選定が大切であると考えられる。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

名作映画の鑑賞をとおして、歴史・文化・精神などに親しむ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月30日(水) 13:30～15:30	「ローマの休日」	28人
2	9月20日(水) 13:30～15:30	「哀愁」	30人
3	10月20日(金) 13:30～15:30	「紙屋悦子の青春」	25人
4	11月14日(火) 13:30～15:30	「信さん」	26人
合 計			109人

事業の評価(成果・課題)

受講者の年齢層が団塊の世代であった。作品のすべてが昭和初期から戦前・戦後のものが多く、かつ、貧困や困窮の中での独特の人情やユーモア、解放感など、共感と感動を得たようだ。選んだ作品は良かったが、女性が多く男性が少なかったので、次年度は、性別に関係なく皆さんが楽しめる作品を選びたい。

(8) ふるさと文化探究講座

趣 旨

DVD映像をとおして、ふるさと石川の歴史・文化・自然・偉人等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月5日(月) 13:30～15:30	①不屈の研究者 高峰譲吉/タカ・ジアスターゼ ②祈りの道 ～禅定道と三馬場～ /泰澄 白山開山 ③十万石の家臣 本多政重	15人
2	7月6日(木) 13:30～15:30	①ツダヨネ ～創業者・津田米次郎、不屈の精神～ ②極める 畜産農家 /能登牛 交配 品種改良 ③能登国のルネサンス ～能登畠山氏～ /上杉謙信 七尾城	18人
3	8月18日(金) 13:30～15:30	①加賀の三羽鳥 ～暁鳥敏・高光大船・藤原鉄乗～ ②源平合戦の道1 ～奇襲・火牛の計～/俱利伽羅峠 北国街道 ③能登しごとうた	12人
4	9月26日(火) 13:30～15:30	①石川の匠たち 人間国宝小森邦衛 ②源平合戦の道2 ～義仲躍進の果てに～ /篠原合戦など ③芭蕉行脚 ～奥の細道と加賀路への思い～ /松尾芭蕉	9人
5	10月25日(水) 13:30～15:30	①石川の匠たち 人間国宝 吉田美統 ②加賀騒動と前田土佐守直躬 ③日本海航路 ～海の道と北前船～ /前田利常 西廻航路	13人
6	11月21日(火) 13:30～15:30	①大衆に愛された文人 ～小松砂丘の魅力～ ②府中三人衆 友との戦い /利家・成政・勝家 ③醸造の里と祝い酒 ～自然の恵み・手取りの伏流水 /能登・鶴来	6人
合 計			73人

事業の評価(成果・課題)

戦国時代の歴史に興味を持つ方が多いので、必ず1本は歴史作品を入れながら、郷土の文化や産業の発展に貢献した先人の物語を加えた。昨年に比べ、参加者が多く満足いただいたようだ。今後も興味のある作品を入れながら、新たな作品へ導きたいと考えている。

(9) 輪島塗沈金教室

趣 旨

輪島塗の代表的な加飾方法である沈金の技法を体験し、各自が考案した図案をもとに沈金パネルを完成する。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月20日(木) 13:30～16:30	各自が考案した図案をもとに、練習用の輪島塗パネルで、沈金専用のノミを使って彫りの練習をする。	輪島塗沈金作家 前古 孝人	15人
2	7月27日(木) 13:30～16:30	パネルに下絵を写し、下絵にそってノミで彫る。彫りが終了後、彫った部分に漆をぬり金粉を入れ完成する。	〃	13人
合 計				28人

事業の評価(成果・課題)

能登校講座では初めての実施であり参加者全員が初体験ということで沈金ノミの使い方に苦慮していたが、練習により徐々に慣れ楽しそうに活動を行っていた。金粉を入れると、想像以上にきれいに出来上がり、どの受講者もとても満足げな表情をしていた。また、別売の額に入れると一層作品が引き立ち、次年度も受講したいとの声が多くあった。

(10) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、自然界の隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月26日(水) 13:30～15:30	身近な科学実験と工作① ・宇宙の話 ・太陽系のモデルづくり	元能登分室職員 坂尻 忠秀	11人
2	8月9日(水) 13:30～15:30	身近な科学実験と工作② 石膏で手形を作ろう	〃	17人
合 計				28人

事業の評価(成果・課題)

身の周りにある道具や素材により、理解困難なことを身近に感じる体験ができた講座になった。とかく理科は難しく、興味や好奇心が持てず、離れる児童生徒が多いことを講師が感じているようだ。講師ならではの工夫にあふれた講座であった。子どもたちは、おもしろい理科の学習にチャレンジし続けてほしい。

(11) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向け名作アニメの上映を通して、子どもたちの豊かな情操を育む。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月30日(日) 13:30～15:30	「ドラえもん のび太のドラビアンナイト」	24人
2	8月5日(土) 13:30～15:30	「ドラえもん のび太の創生日記」	49人
3	8月20日(日) 13:30～15:30	「ドラえもん のび太とふしぎ風使い」	37人
合 計			110人

事業の評価(成果・課題)

参加人数については、近隣の市町の幼児や学童の人口減少の影響が大きい。また、祖父母の同伴が多く、遠くからの参加は難しいようだ。次年度は午前中の実施に改め、それぞれが午後の活動が可能のように配慮したい。

(12) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を作り、釉薬をかけて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験とおして、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月15日(土) 13:30～16:30	成形・素焼き	石川県立飯田高等学校 教諭 井上 正浩	18人
2	8月6日(日) 13:30～16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	18人
3	8月24日(木) 13:30～16:30	鑑 賞 会	〃	17人
合 計				53人

事業の評価(成果・課題)

受付開始から短期間で定員に達してしまい、人気講座であることを示している。講師は子どもたちの創作意欲を上手に引き出し、保護者の求めにも丁寧に対応していた。幼い子供も多かったが、理解力、意欲のある子が多かった。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) フランス料理教室

趣 旨

オーナーシェフの指導によるフランス料理を実際につくり、楽しく試食します。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	6月26日(月) 10:00～13:00	家庭でできるフランス料理	ラトリエ・ドゥ・ノ オーナーシェフ 池端 隼也	18人

事業の評価(成果・課題)

調理前にレシピを配付して、講師から丁寧な説明を受けたので、フランス料理は難しいのではないかと感じている方も身近な存在になったようだ。受講生からは、フランス料理が自宅で簡単にできると好評であった。

(2) 大人の料理教室

趣 旨

秋の食材を生かした手軽な料理作りを楽しみ、地域の食文化や健康食についての理解を深める講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	10月14日(土) 10:00～13:00	秋の味覚を楽しみましょう	地域活動栄養士 沖崎 美子	16人

事業の評価(成果・課題)

秋ナス、きのこ、柿などの旬を迎えた秋の食材を使い、楽しい雰囲気調理した。試食時に、講師から食材の特長や調理法、味付けの工夫についての考え方も教えていただき、栄養面や健康面でも大いに参考になった。

(3)サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港のマスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを実感し、併せて空港に親しむ。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各 50 名

会 場

のと里山空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容 (題 材)	参加人数	備 考
1	4 月 9 日 (日)	お花見のっぴー	70 人	
2	5 月 14 日 (日)	のっぴーと鯉のぼり	96 人	
3	6 月 11 日 (日)	のっぴーと雨宿り	68 人	
4	7 月 9 日 (日)	のっぴーと天の川	436 人	講義室で実施
5	8 月 13 日 (日)	のっぴーと海水浴	144 人	
6	9 月 10 日 (日)	お月見のっぴー	94 人	
7	10 月 8 日 (日)	のっぴー空の運動会	68 人	
8	10 月 15 日 (日)	のっぴー空の運動会・スカイのっぴー	408 人	作業室で実施
9	11 月 12 日 (日)	のっぴーモミジ狩り	32 人	
10	12 月 10 日 (日)	のっぴーサンタ	72 人	
11	12 月 23 日 (土)	12 ヶ月自由図柄	522 人	作業室で実施
12	1 月 14 日 (日)	のっぴーのお正月	46 人	
13	2 月 11 日 (日)	のっぴーと雪だるま	66 人	
14	3 月 11 日 (日)	のっぴーひな祭り	72 人	
合 計			2,194 人	

※実施日は、毎月第2日曜日、10/15空の日フェスタ、12/23クリスマスイベント開催日

時間帯は、10:00～12:00、13:00～15:00

事業の評価(成果・課題)

家族揃っての参加も多く、旅行者の参加もみられた。のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する行事となっている。イベント開催日以外の参加者数が減少しており、広報の工夫や新たな魅力づくりが課題となっている。

3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数		27	35	62	49	84	76	65	82	67	39	46	52	37	694
		28	36	69	60	66	71	67	115	76	44	39	50	44	737
		29	36	67	62	80	78	58	69	73	52	38	51	40	704
人数		27	848	1,704	1,106	2,008	1,883	1,353	3,372	1,697	2,439	876	1,424	827	19,537
		28	901	1,499	1,813	1,619	1,859	1,369	2,995	2,033	4,062	758	1,329	1,214	21,451
		29	781	1,553	1,671	3,629	1,847	1,280	3,673	1,843	5,643	670	1,216	1,044	24,850
1日平均	件数	27	1.2	2.0	1.6	2.7	2.5	2.2	2.6	2.2	1.4	1.6	1.9	1.2	1.9
		28	1.2	2.2	2.0	2.1	2.3	2.2	3.7	2.5	1.6	1.4	1.7	1.4	2.1
		29	1.2	2.2	2.1	2.6	2.5	1.9	2.2	2.4	1.9	1.4	1.8	1.3	2.0
	人数	27	28.3	55.0	36.9	64.8	60.7	45.1	108.8	56.6	87.1	31.3	50.9	26.7	54.3
		28	30.0	48.4	60.4	52.2	60.0	45.6	96.6	67.8	145.1	27.1	45.8	39.2	59.8
		29	26.0	50.1	55.7	117.1	59.6	42.7	118.5	61.4	201.5	23.9	43.4	33.7	69.2

- ・ 平成15年5月6日開設。
- ・ 平成29年度の利用状況(開館日数 359日)
 - ・ 利用件数 704件 対前年比 95.5 % (平成28年度 737 件)
 - ・ 利用人数 24,850人 対前年比 115.8 % (平成28年度 21,451 人)

Ⅲ 調査研究レポート

「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について

1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、社会教育・生涯学習のよりよい推進を図るため、調査研究事業を実施している。金沢大学で実施している社会教育主事講習（以下、適宜「主事講習」）について、社会教育・生涯学習を推進する上で、中心的な役割が期待される社会教育主事有資格者の意識や活動実態について調査研究を実施し、報告書を作成した。

2 概要

（１）調査研究のテーマ

社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査

（２）目的

社会教育主事講習での社会教育・生涯学習に係る理論、成人学習者の特性、学習プログラム等の企画立案、地域づくり・まちづくりに関する学習、様々な現代的な課題に関する学習などが、その後の職務等どのように活かされたのかを把握するとともに、社会教育職員養成における社会教育主事講習の在り方を再考し、もって今後の社会教育主事講習や社会教育職員養成の改革・改善に資することを目的に実施したものである。

（３）調査対象、方法及び回収率

文部科学省（旧 文部省）の委嘱をうけて金沢大学が実施している「金沢大学社会教育主事講習」を1984(昭和59)年～2015(平成27)年までの間に受講し、社会教育主事又は公民館等の社会教育施設等で社会教育・生涯学習振興等の事業に従事している方若しくは従事した経験を有する方730人の内、650人を対象に、2015(平成28)年2月～3月、「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」を郵送法により行い、265人から回答を得た（回収率40.7%）。

（４）調査研究の期間

調査研究の期間は、2015（平成27）年度～2017（平成29）年度の3年間である。

（５）調査項目

性別、年代等の基本的属性①～⑤を含め、⑥主事講習を受講した動機、⑦受講にあたって学びたいと思った事項、⑧学びの成果、⑨受講前後での変容、⑩学んだことの活用方法、⑪学習成果の業務への反映状況、⑫社会教育職員に期待される「基礎的な力」は何か、⑬「基礎的な力」の重要度順、⑭社会教育という仕事への思い、⑮受講後のフォローアップ研修等のあり方、⑯受講開始時から新たに表出した課題、⑰主事講習期間、⑱社会教育の役割認識、⑲主事講習受講後の異動状況、⑳主事講習等職員養成のあり方などについて選択又は記述により回答する。

（６）主な調査結果のまとめ

①主事講習を受講した理由・・・仕事上の上司や同僚に勧められたから

②主事講習で学びたいと思ったこと・・・社会教育・生涯学習の理念や考え方、社会教育主事に求められる基礎的なこと、社会教育や公民館等の事業の企画・立案

- ③主事講習で学べたこと・・・社会教育・生涯学習の理念や法制度に関すること、学校・家庭・地域の連携の意義に関すること、学習プログラムの企画・立案に関する知識や技能
- ④主事講習の受講前後で変容したこと・・・社会教育・生涯学習の理念や考え方、社会教育主事に求められる役割
- ⑤主事講習の科目で、その後の業務で役立った内容・・・社会教育演習（現地、宿泊、実習等）で学んだこと、社会教育の計画・プログラムに関すること、地域づくり・まちづくり・地域の活性化に関すること
- ⑥社会教育という仕事・・・地域住民のつながりづくりに寄与する仕事、地域づくり・まちづくり・地域の活性化に寄与する仕事、地域住民の学習意欲の向上に寄与している仕事
- ⑦社会教育職員に期待される「基礎力」・・・地域課題を発見・分析する力、学びの場や機会を企画する力、地域住民とのコミュニケーション能力
- ⑧「基礎力」の上位5つ・・・1位 地域課題を発見・分析する力、2位 地域住民とコミュニケーションする力、3位 学びの場や機会を企画する力、4位 住民の学びを支援する力、5位 地域住民を事業や活動に巻き込む力

3 まとめ

社会教育主事講習での社会教育・生涯学習に係る理論、成人学習者理解、事業の企画立案、地域づくり・まちづくりに関する学習、様々な現代課題に関する学習などは、その後の様々な職務において多方面に活かされる可能性が高いものとなっていると思量される。

こうした社会教育主事等社会教育職員養成の機会である社会教育主事講習又は社会教育主事養成課程を通じて形成されるであろう「力」や資質は、行政、団体、学校又は各種機関等の様々な組織などで活かすことができるかなり汎用性の高いものであることから、社会教育主事講習等の社会教育職員養成や職員研修の在り方に関する検討は今後とも推進されなければならないだろう。

なお、本調査研究の内容等については、『9単位社会教育主事』養成に果たす社会教育主事講習の意義と今後の課題に関する研究」報告書を参照されたい。

平成 2 9 年 度

事 業 報 告 書

平成 3 0 年 5 月 2 5 日 発 行
編 集 ・ 発 行 石 川 県 立 生 涯 学 習 セ ン タ ー



〒 920-0935

金 沢 市 石 引 4 丁 目 1 7 番 1 号

石 川 県 本 多 の 森 庁 舎

TEL 076(223)9571 (代 表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用